

●2021(2020)年度 課題曲V『吹奏楽のための「幻想曲」ーアルノルト・シェーンベルク讃』  
の奏法に関する質問に対する回答

Q. 金管楽器に示されている breath sounds (through the instrument) の詳しいやり方を教えてください。

A. この奏法はトランペット、ホルン、トロンボーンは冒頭の2, 3小節目に、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバが練習番号3の3小節前、2小節前(20, 21小節目)に課せられています。  
方法等はそれぞれ総譜の欄外(下側)に記載されています。

この部分の演奏については、作曲者に確認し、以下の通りといたします。

①演奏する際、必ずしも本番にて使用するマウスピースは使用しなくてもよい。スペアのマウスピースを消毒し使用してください。

②マウスピースの装着時、着脱時に不意の金属音がすることは好ましくないので、市販されている練習用のプラスチック製マウスピースを消毒し使用してください。

③演奏の際は、飛沫が飛ばないようにしっかり上唇と下唇でマウスピースの管(シャンク。リムの反対側)の部分を包み込み、口腔内で「シー」という音を発し、管体に息を吹き込んでください。  
間違ってバジングの音を発することがないように注意してください。